



自由民主党 吉敷 賢一郎 6
総合体育館の整備・活用を

問総合体育館の設備を改善する事で、施設の有効活用と利便性向上が図られるとともに東京五輪のキャンプ誘致も期待されるが、市長の考えを伺う。

答市長 既存施設の改修については、利用者の利便性と安全性の両面から慎重に検討していく必要がある。

既存の施設を有効的、効果的に利用するとともに、



自由民主党 海沼 秀幸 7
6次産業化のネットワーク

問1次産業、2次産業、3次産業が一体型となる6次産業化の推進にあたり産業間のネットワークの形成についてどう考えているのか？

答産業観光部長 6次産業化には、農業者と地域の方々、事業者が結びつきを強め、事業者間のマッチングを促進する必要がある。市は、国や県などの関係機関と連携し、



自由民主党 岸 啓祐 8
積極的な工場誘致施策推進

問工場誘致における県内都市間競争が厳しさを増すなか市の今後の工場誘致に対する姿勢を伺う。

答市長 今後、本市においても人口減少や少子高齢化の進行が見込まれる中、市内への新たな企業誘致や既存ものづくり企業の振興を図ることは、

税金や雇用の増加につながるばかりではなく、まちの活性化にも資するもの



市民フォーラム 伊藤 正子 9
就学以降の居場所づくり

問市として、子どもたちの健全育成の観点から、放課後の居場所づくりについて、地域へ働きかけることができぬか、考えを伺う。

答子ども未来部長 平日の放課後の居場所づくりについては、子どもたちの身近にある自治会館や児童遊園、小学校の校庭を活用し、地域の高齢者にボランティアとして子



公明党 大泉 一夫 10
食品ロス減少の市民啓発は

問食品ロスを減らすために市民の日常生活の中で取り組める事は多いと考えるが、市が市民に対して行える啓発活動として、何を考えているか伺う。

答環境部長 家庭から発生する食品ロスを削減するため、市民には食品・食材の在庫管理、計画的な買い物をお願いするとともに、市としては、出前講座や各種講演会を

実施し、



公明党 桐野 忠 11
ヘルプカード配布事業！

問一見、障害者とわからないような内部障害者や難病等抱える方々を支援するために、「ヘルプマーク」「ヘルプカード」配布事業を行えないか？

答福祉部長 ヘルプカードは、障害者が携帯し、いざという時に必要な支援や配慮を周囲の人をお願いするカードであると認識している。

ク・発作等の緊急時、また、手助けを必要とする日常生活の場面で活用が期待されている。このようなことから、市独自のヘルプカードの作成について、今後検討していききたいと考える。



問災害発生時や、パニック
問災害時医療等の諸課題
問思いやりの福祉施策